

私立大学図書館協会 2005年度東地区部会第2回役員会事務連絡会  
議事要録

期 日：2005年8月24日（水）12：00～13：15

会 場：松山大学東本館 7階会議室第4

出 席：龍谷大学（南）、国土館大学（齊藤、渡辺、相田）、昭和女子大学（木村、柳）  
立正大学（佐藤）、東北学院大学（三浦、北村）、早稲田大学（中元）、駒澤大学（林、  
櫻井、鈴木、秋沢）

議事に先立ち、部会長校駒澤大学の林館長より挨拶が行われ、引き続き、配布資料の確認があった後、当会の進行について説明がなされた。その中で、議題の2.から5.に関しては、7月26日に開催された臨時常任幹事会で協議された情報を提供するものであり、午後から開催の第1回東西合同役員会における議題で会長校から提案される。問題点があれば協議したいとの意向が示された。

## 議 事

### 1. 第1回東西合同役員会での報告について（資料1）

部会長校駒澤大学（櫻井）より、資料1に基づき、2005年4月から2005年7月までの私立大学図書館協会東地区部会会務報告内容が提案され、了承された。続いて、研究部担当理事校国土館大学（齊藤）より、研究部活動報告内容が提案され、了承された。なお、2005年度第1回東西合同役員会の報告では、研究部活動報告も含めて部会長校駒澤大学（櫻井）より報告する。

その後、研究部担当理事校国土館大学（渡辺）より、研究部運営委員会で検討を行い「2005年度研究分科会マニュアル」を一部修正したこと、研究部運営委員の1人が7月から11月までの期間だけ交替される旨の報告があった。

### 2. 「永年勤続表彰制度」について（資料2）

部会長校駒澤大学（櫻井）より、資料2に基づき、以下の報告があった。

- ・2003年度第1回合同役員会において永年勤続表彰制度の見直しについての問題提起、2004年9月の第1回東西合同役員会において「永年勤続表彰制度検討委員会」が設置された。その後、2005年3月に検討委員会から会長校宛てに答申が提出された。
- ・会長校の検討委員会の答申を是とする本制度廃止の件について東地区部会として、6月10日開催の東地区部会総会を通じて永年勤続表彰制度廃止の答申内容並びに廃止方向への提案をして各加盟館から意見聴取したが、部会長校へ集められた意見を7月26日に開催された臨時常任幹事会において報告した。
- ・意見は2件あり、2件とも「永年勤続表彰制度検討委員会」の答申内容には反対はなかったが、図書館職員の現状の捉え方・若しくはどの視点に立ちこの制度を廃止するのか明らかでない、図書館員の有能な人材を育成していく旨の記録を残

すべきとの意見であった。

3. 承合事項・提案事項の取り扱いについて（資料3）

部会長校駒澤大学（櫻井）より、資料3に基づき、以下の報告があった。

- ・今回の総会において「協会賞選定委員会の委員の選出方法」と「協会賞ならびに研究助成の選考方法」の2件の提出議題が提案された。
- ・この2件の提案に対する取り扱いとしては、両提案とも現規程の範囲の中で運営されていることへの質問であり、この提案は協会賞・研究助成委員会報告の中で取り扱うこととし、提出議題としては取り扱わないこととなった。

4. 国公立大学図書館協力委員会運営費分担金について（資料4）

部会長校駒澤大学（櫻井）より、資料4に基づき、以下の報告があった。

- ・国公立大学図書館協力委員会は国公立の教育機関の領域を超えた協力事業を実施してきたが、さらに、独自のシンポジウムの開催など活発な事業展開をするために各協会から運営分担金を拠出することになった。
- ・私立大学図書館協会からは、2005年度予算の予備費より50万円を支出することを総会で最終決定される予定である。

5. 私立大学図書館協会加盟図書館館員名簿について（資料5）

部会長校駒澤大学（櫻井）より、資料5に基づき、以下の報告があった。

- ・協会加盟図書館名簿作成事業実施について、2005年4月15日（金）に開催された第1回常任幹事会において、会長校、東西部会長校、名簿担当校で見直しを検討することとなった。
- ・検討会での協議結果と意見集約の結果、従来の記載内容の冊子式の隔年発行を改め、最小限の情報を毎年総会時に配付し、欠席校のみ総会資料と一緒に郵送する方式に改める。
- ・名簿の各大学の点検は、会長校が毎年4月に確認表を送付し、訂正のみを会長校に返送する方法とする。

6. 協会関係報告事項について

(1) 協会賞審査委員会・研究助成委員会について（資料6）

部会長校駒澤大学（櫻井）より、資料6に基づき、以下の報告があった。

- ・協会賞の審査に関しては問題も存するが当面は従前方式を踏襲し、今後は研究助成の在り方に対して検討し、このことによって協会活動の活性化に関わる方策を講じたいとした。

(2) 国際図書館協力委員会について（資料7）

部会長校駒澤大学（櫻井）より、資料7に基づき、以下の報告があった。

- ・搬送事業・海外派遣研修等の事業計画が確認された。シンポジウムの開催に

については、2005年11月18日に関西大学でイリノイ大学図書館長カウフマン氏を講師とする企画案で検討されている。

## 7. その他

### (1) 2007・2008年度東地区部会総会の会場校について

部会長校駒澤大学(櫻井)より、東地区部会総会会場校には2006年度は鶴見大学に決定、2007年度の会場校は国際基督教大学に内諾を得たとの報告があった。

また、2008年度の会場校については未定であるので、候補校があれば紹介していただきたい旨の発言があった。

### (2) 2007・2008年度私立大学図書館協会・研究大会の当番校について

部会長校駒澤大学(櫻井)より、協会総会・研究大会の当番校には、2007年度の候補校として立教大学の紹介を受け、昭和女子大学から交渉していただき、概ね内諾を得たとの報告があった。

なお、2008年度の当番校には国学院大学に内諾を得ているとの報告があった。

以上